

平成 25 年度

解 答 と 解 説

《平成25年度の配点は解答用紙に掲載してあります。》

<数学解答> 《学校からの正答の発表はありません。》

$$\boxed{1} \quad (1) a = \frac{\sqrt{2}}{3} \quad (2) \frac{\sqrt{6}}{2} \quad (3) \sqrt{6} \quad (4) \left(\frac{\sqrt{6}}{2}, \frac{3\sqrt{2}}{2} \right)$$

$$\boxed{2} \quad (1) 6 \quad (2) \sqrt{3} \quad (3) \frac{148\sqrt{3}}{3}$$

$$\boxed{3} \quad (1) \text{ア } \frac{1}{2} \quad \text{イ } \frac{1}{3} \quad (2) \text{ウ } -1 - \sqrt{2} \quad \text{エ } 2\sqrt{2} \quad (3) \text{オ } \sqrt{2} + 2 - \sqrt{6}$$

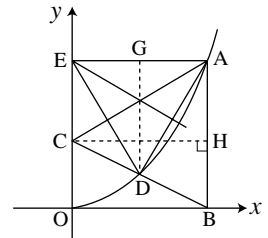
$$\boxed{4} \quad (1) 12\text{通り} \quad (2) \text{① } 8\text{組} \quad \text{② } 5\text{組} \quad \text{③ } 280\text{組}$$

<数学解説>

- 1 (関数・グラフと図形—一次関数, y が x の2乗に比例する関数, 直線の式, グラフの交点の座標, 正三角形の性質, 2点間の距離, 三平方の定理)

重要

- (1) 点CからABに垂線CHをひくと, HはABの中点となる。△CBHは内角の大きさが 30° , 60° , 90° の直角三角形なので, $CH : HB = \sqrt{3} : 1$ ところで, 点Aの y 座標は, $a \times (\sqrt{6})^2 = 6a$ よって, 点Hの y 座標は $3a$ である。 $\sqrt{6} : 3a = \sqrt{3} : 1 \quad a = \frac{\sqrt{6}}{3\sqrt{3}} = \frac{\sqrt{2}}{3}$



- (2) $a = \frac{\sqrt{2}}{3}$ なので, $A(\sqrt{6}, 2\sqrt{2})$, $H(\sqrt{6}, \sqrt{2})$, $B(\sqrt{6}, 0)$, $C(0,$

$\sqrt{2})$ 直線CBの式は, $y = -\frac{\sqrt{2}}{\sqrt{6}}x + \sqrt{2} = -\frac{\sqrt{3}}{3}x + \sqrt{2}$ 点Dは $y = \frac{\sqrt{2}}{3}x^2$ のグラフと直線

$y = -\frac{\sqrt{3}}{3}x + \sqrt{2}$ との交点なので, その x 座標は方程式 $\frac{\sqrt{2}}{3}x^2 = -\frac{\sqrt{3}}{3}x + \sqrt{2}$ の解である。両辺を

3倍して整理すると, $\sqrt{2}x^2 + \sqrt{3}x - 3\sqrt{2} = 0$ 2次方程式の解の公式を用いて, $x = \frac{-\sqrt{3} \pm \sqrt{27}}{2\sqrt{2}}$

$x > 0$ なので, $x = \frac{-\sqrt{3} + 3\sqrt{3}}{2\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{6}}{2}$

- (3) 点C, D, Bの x 座標はそれぞれ 0 , $\frac{\sqrt{6}}{2}$, $\sqrt{6}$ なので, 点Dは線分BCの中点である。よって,

$AD \perp CB$ となり, ADは正三角形ABCの高さだから, 1辺の $\frac{\sqrt{3}}{2}$ 倍である。 $AB = 2\sqrt{2}$ なので,

$$AD = 2\sqrt{2} \times \frac{\sqrt{3}}{2} = \sqrt{6}$$

やや難

- (4) 線分の垂直二等分線上の点は線分の両端から等しい距離にあるので, 線分DEの垂直二等分線と線分ADの垂直二等分線の交点をFとすると, $AF = EF = DF$ また, 2点 (x_1, y_1) , (x_2, y_2) の

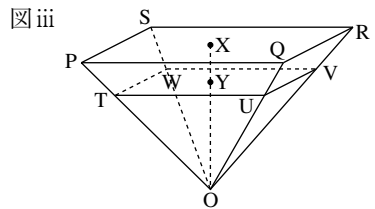
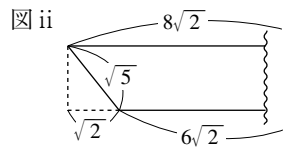
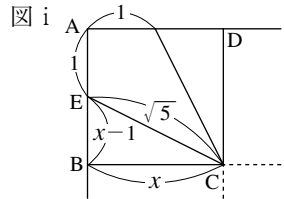
距離は $\sqrt{(x_2 - x_1)^2 + (y_2 - y_1)^2}$ で求められるので, $AD = \sqrt{\left(\sqrt{6} - \frac{\sqrt{6}}{2}\right)^2 + \left(2\sqrt{2} - \frac{\sqrt{2}}{2}\right)^2} = \sqrt{6}$

$DE = \sqrt{\left(\frac{\sqrt{6}}{2}\right)^2 + \left(2\sqrt{2} - \frac{\sqrt{2}}{2}\right)^2} = \sqrt{6}$ よって、 $AD = AE = ED$ となり、 $\triangle ADE$ は1辺の長さが $\sqrt{6}$ の正三角形である。よって、 DF は $\angle ADE$ の二等分線であり、 AE の中点を G とすると、点 F は DG 上にあり、 $\triangle AFG$ は、内角の大きさが 30° 、 60° 、 90° の直角三角形である。よって、 $FG : AG = 1 : \sqrt{3}$ $FG : \frac{\sqrt{6}}{2} = 1 : \sqrt{3}$ から、 $FG = \frac{\sqrt{2}}{2}$ 点 F の y 座標は $2\sqrt{2} - \frac{\sqrt{2}}{2} = \frac{3\sqrt{2}}{2}$ したがって、交点の座標は、 $\left(\frac{\sqrt{6}}{2}, \frac{3\sqrt{2}}{2}\right)$

2 (図形—三平方の定理, 長さ, 容積)

重要

- (1) 図 i のように四角形 $ABCD$ を考えたとき、 $AB = x$ とすると $BE = x - 1$ $\triangle BCE$ で三平方の定理を用いると、
 $(x-1)^2 + x^2 = (\sqrt{5})^2$ $2x^2 - 2x - 4 = 0$ $(x-2)(x+1) = 0$ $x > 0$ だから、 $x = 2$ よって、底面の正方形の1辺の長さは $10 - 2 \times 2 = 6$
- (2) この容器の上の縁は1辺の長さが8の正方形である。図 ii は、この容器を、底面や上面の正方形の対角線を通る平面で切ったときの切り口の一部である。よって、この容器の高さを h とすると、 $h^2 + (\sqrt{2})^2 = (\sqrt{5})^2$ $h = \sqrt{3}$
- (3) この容器の容積は、図 iii の正四角すい $O-PQRS$ から正四角すい $O-TUVW$ をひいたものである。それぞれの正四角すいの高さを OX 、 OY とすると、 $OX : OY = PQ : TU$ $XY = \sqrt{3}$ だから、 $OY = x$ とすると、 $(x + \sqrt{3}) : x = 8 : 6$ $6x + 6\sqrt{3} = 8x$ $x = 3\sqrt{3}$ よって、この容器の容積は、
 $\frac{1}{3} \times 8^2 \times 4\sqrt{3} - \frac{1}{3} \times 6^2 \times 3\sqrt{3} = \frac{148\sqrt{3}}{3}$



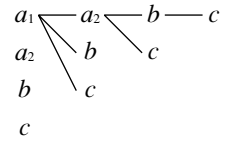
3 (2次方程式, 平方根の計算)

重要

- (1) $x = 2$, $x = 3$ が2次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ の解であるとき、 $ax^2 + bx + c = 0$ の左辺は $a(x-2)(x-3)$ と因数分解できる。展開して整理すると、 $ax^2 - 5ax + 6a$ よって、 $b = -5a$, $c = 6a$ 2次方程式 $cx^2 + bx + a = 0$ に代入すると、 $6ax^2 - 5ax + a = 0$ 両辺を a でわって左辺を因数分解すると、 $(3x-1)(2x-1) = 0$ $x = \frac{1}{3}, \frac{1}{2}$ $\alpha > \beta$ なので、 α は $\frac{1}{2}$, β は $\frac{1}{3}$
- (2) 2次方程式の解が $x = 1 + \sqrt{2} + \sqrt{3}$, $1 + \sqrt{2} - \sqrt{3}$ であるとき、その2次方程式は、 $\{x - (1 + \sqrt{2} + \sqrt{3})\}\{x - (1 + \sqrt{2} - \sqrt{3})\} = 0$ で表される。左辺を展開すると、 $x^2 - \{(1 + \sqrt{2} + \sqrt{3}) + (1 + \sqrt{2} - \sqrt{3})\}x + (1 + \sqrt{2} + \sqrt{3})(1 + \sqrt{2} - \sqrt{3}) = x^2 - (2 + 2\sqrt{2})x + (1 + \sqrt{2} + \sqrt{3})(1 + \sqrt{2} - \sqrt{3}) = 0$ $(1 + \sqrt{2} + \sqrt{3})(1 + \sqrt{2} - \sqrt{3}) = \{(1 + \sqrt{2}) + \sqrt{3}\}\{(1 + \sqrt{2}) - \sqrt{3}\} = (1 + \sqrt{2})^2 - (\sqrt{3})^2 = 3 + 2\sqrt{2} - 3 = 2\sqrt{2}$ よって、 $x^2 - (2 + 2\sqrt{2})x + 2\sqrt{2} = 0$ $-(2 + 2\sqrt{2}) = +2(-1 - \sqrt{2})$ だから、 α は $-1 - \sqrt{2}$, β は $2\sqrt{2}$
- (3) $\frac{1}{1 + \sqrt{2} + \sqrt{3}} = \frac{x}{4}$ とすると、 $x = \frac{4}{1 + \sqrt{2} + \sqrt{3}} = \frac{4(1 + \sqrt{2} - \sqrt{3})}{(1 + \sqrt{2} + \sqrt{3})(1 + \sqrt{2} - \sqrt{3})} = \frac{4(1 + \sqrt{2} - \sqrt{3})}{2\sqrt{2}} = \frac{2(1 + \sqrt{2} - \sqrt{3})}{\sqrt{2}} = \frac{2(1 + \sqrt{2} - \sqrt{3}) \times \sqrt{2}}{\sqrt{2} \times \sqrt{2}} = \sqrt{2} + 2 - \sqrt{6}$ よって、 α は $\sqrt{2} + 2 - \sqrt{6}$

4 (場合の数、数の性質)

- (1) 2枚の a のカードを a_1, a_2 と区別すると、4枚のカードの並べ方は、右図の樹形図で示すように、 $4 \times 3 \times 2 \times 1 = 24$ (通り) ある。24通りのうちの、例えば、 $a_1 \rightarrow a_2 \rightarrow b \rightarrow c$ と $a_2 \rightarrow a_1 \rightarrow b \rightarrow c$ は a_1 と a_2 を区別しないとすれば同じ並べ方である。他のものについても同様なので、 $24 \div 2 = 12$ (組)



- (2) ① 4つの整数がすべて正の整数であるとき、 $x=y=z=w=1$ 4つの整数がすべて負の整数のとき、 $x=y=z=w=-1$ 2つの整数が -1 で他の2つの整数が1のときにも成り立つ。その場合には、 -1 となる整数を2つ選べば1となる整数2つが自動的に決まる。よって、2つの選び方が $(x, y), (x, z), (x, w), (y, z), (y, w), (z, w)$ の6通りあるので、 (x, y, z, w) の組も6通りある。したがって、8組ある。
- ② $0 < x \leq y \leq z \leq w$ なので、 $(x, y, z, w) = (1, 1, 1, 16), (1, 1, 2, 8), (1, 1, 4, 4), (1, 2, 2, 4), (2, 2, 2, 2)$ の5組ある。
- ③ すべて正の整数である場合について考えると、絶対値が1, 1, 1, 16である組は、どの文字が16になるかで4通りある。絶対値が1, 1, 2, 8である組は、4つのうちの2つが同じなので、(1)で確かめたように12組ある。絶対値が1, 2, 2, 4である組も同様に12組ある。絶対値が1, 1, 4, 4である組は、どの2つの文字が1であるかを決めると残りの2つの文字が自動的に4となるので、(2)①で確かめたように6組ある。絶対値が2, 2, 2, 2である組は1組だけである。よって、 $4 + 12 + 12 + 6 + 1 = 35$ (組) それらの組について正負の符号を考えると、(2)①で確かめたように、すべて正の整数である場合を含めて8通りずつあるので、 $35 \times 8 = 280$ (組)

やや難

★ワンポイントアドバイス★



①の(4)は、交点が正三角形の外接円の中心になることに着目する。②の(2)は正方形の対角線を利用する。④は誘導形式になっているので、前の問題で使った考え方をうまく用いるとよい。

<英語解答> 《学校からの正答の発表はありません。》

- A** I 1 once 2 connecting 3 physical 4 age II express
 III (2) イ (5) ア (7) ウ (9) イ IV イ V close VI sight
 VII ウ VIII 3番目 ア 6番目 キ IX エ X what, without, easy
 XI ウ, カ XII 1 (1) with (6) for 2 weak 3 ウ 4 made
 5 about studying English together? 6 shall we 7 ア
- B** I (1) ア (14) ウ (15) ウ II (2) イ (9) ア
 III (3) エ (4) ウ (5) エ (7) ア IV イ V any other
 VI (10) latest (12) spent VII their knowledge and experience VIII イ
 IX life X ウ, オ XI (1) ウ (2) ク (3) オ (4) イ
 (5) エ (6) カ

<英語解説>

A (長文読解問題・紹介文：英問英答，言い換え・書き換え，語い，語句解釈，区切り，省略，内容吟味，語句整序，和文英訳，内容一致，関係代名詞，前置詞，熟語，付加疑問)

(全訳) ロジャーとジミーのクラーク親子は，年に1度の，1対1のバスケットボール大会を終えたばかりだ。ロジャーは父親で56歳。ジミーは息子で19歳だ。

クラーク家はメリーランド州グリーンベルトに住んでいる。毎年彼らは対戦する。ジミーがまだ幼いころから，父と息子は1対1で試合をしてきた。彼らは例年の大会を行事にしている。毎年彼らは対戦する。バスケットボールのコートには彼ら2人しかいないが，大会には意味がある。

「僕たちを結び付けてくれます」と息子が言った。「父とバスケットコートにいただけで，いい気分になります。コートの上でお互いを見て，試合中に話す。そして『これが僕の父だ』『これがわが息子だ』という気持ちです」

(1) 2人のクラーク氏は試合の重要性を言葉にするのが難しい。彼ら是一緒に何か肉体的なことを楽しむだけでなく，また1年が過ぎたのだということを理解する。

(2) 私たちにとってはおおごとですよと父親は言った。「敗者は勝者が選んだレストランで，勝者に夕食をごちそうしなくてはいけないのです。私たちは試合中，かなり真剣です。2人とも本気で勝とうとしています。(3) 毎年バスケットボールの試合をすることは，息子とかかわる素晴らしい方法です」

ふつう，その大会の試合を見る人はおらず，コートには父と息子がいるだけで，それぞれが試合に勝とうとしている。スコアボードも実況中継のアナウンサーもない。しかしどういいうわけか，年に1度試合をすることは，彼らにとってスーパーボールとワールドシリーズがすべて合わさったものよりも重要になった。

「僕の友人の多くは，(4) 僕が父と親しいほどには，自分の父親と親しくないと思います」と息子は言った。「こういうことがあまり頻繁に見られないのは残念なことだと思います」

父親も同意した。「1対1のバスケットボールにはいいことがあります」と彼は言った。「すごく近くなるでしょう。テニスをするのとは違います，それだととても離れていますね。1対1のバスケットボールにはたくさんのボディコンタクトがあります。肉体的に近いのです。時々試合中，(5) 張り詰めた雰囲気になり，互いに腹を立てたりします。でも私たちがそこにいる理由を(6) 見失うことはないと思います」

父親も息子も，ある1つの重要な事実を常に意識している。父親は56歳でもはや若くなく，息子は19歳で，肉体的に最高の状態だ。

「彼が8歳だったときのことを思い出します」と父親が言った。「彼はボールをリングに到達させるのさえ難しかった。私は彼の手助けをし，いつも彼を勝たせたものだった。でも物事は変わります。彼はどんどん大きく，上手になって，私は年を取りました。バランスが変わったのです。彼は勝つようになりました。私はついていくのが大変になりました」

息子は(7) この進歩を少し気づまりに思っている。そう，彼には力とスタミナがある。でもある意味，(8) 彼は年月がそんなに早く過ぎないようにと願っている。

「僕は父の体調を少し心配しています」と息子は言った。「僕が手加減したほうがいいな，と思う時があります。でもそうしません。父はわかるだろうし，僕が100%の力でプレーしなかったら父は怒るでしょう。父は毎回一生懸命プレーするし，努力しています」

彼らの間ではふつう語られないことが1つある。いつかこれが終わりを迎えるという考えだ。父親がバスケットコートに出て，1対1の大会の試合に全エネルギーをそそぐのは，あと何年可能か，2人ともわからない。

「⁽⁹⁾ そうなったらとてもがっかりでしょうね」と息子は言った。「やめないといけなくなったら、つながりが失われます。父と息子でいることで感じられる良い感情は、多くが失われてしまうでしょう」

「いつか試合に出られなくなるとわかっています」と父親は言った。「その日を恐れていませんが、もちろん待ち望んでもいません。私たちは懸命に走り、リバウンドを取ろうと戦い、シュートをブロックする…それが終わりを迎える日を私は待ち望んでいません」

記録として、今年の大会では息子が父親を48対42で負かした。しかし彼らと話すと、最終的なスコアはそれほど重要なことではないとわかる。彼らにとって、より重要なのは、バスケットコートと一緒に出ているときにどう感じるか、ということだ。

「僕は父をとて誇りに思います」と息子は言った。「僕たちがこれを一緒にできるのはとてもいいことです。父と一緒にコートに⁽¹⁰⁾出ているときに得られる感覚は、何よりも、喜びの気持ちなのです。言いますけど、もし僕に息子ができたら、僕たちも毎年大会を開くだろうと思います」

「息子と一緒にコートに出ると、なんて良い若者に⁽¹¹⁾なったのだろう、と思うのですよ」と父親が言った。「私たちは試合をしていますから、もちろん私は彼を対戦相手として見るわけです。でも私が本当に見ているのは何か？ 私が本当に感じているのは何か？ 私は息子を見えています。そして私は非常に大きな愛を感じています。私はただ、息子を非常に愛しているのです」

重要

I 1 「クラーク親子はこのバスケットボールの試合をどのくらいの頻度で行うか」「1年に1回行う」 2 「なぜクラーク親子はこの試合を非常に貴重だと思っているのか」「彼らはそれをお互いへの重要なつながり方だとみなしているから」 3 「クラーク親子は、テニスではなく1対1のバスケットボールについて、何が気に入っているか」「彼らは対戦相手との肉体的関わりが多いことを気に入っている」 4 「クラーク親子が今心配していることは何か」「父親の年齢を心配している」

II have a hard time ~ing 「~するのが困難だ」 put ~ into words 「~を言葉にする」 <find it + 形容詞 + to + 動詞の原形> 「~することを…だと思う」 express 「表現する」

やや難

III (2) make a big deal 「大ごとにする」 (5) tense 「緊張した、張り詰めた」 (7) 直前の父親の言葉参照。ウ「息子がだんだん強くなり、父親はスローダウンしているという事実」 (9) 直前の段落第1文参照。イ「父親がプレーするのをやめるとき」

IV 主語が長いとき、その終わりで区切って読む。ここでは Playing ~ year までが主語(主部)。

やや難

V 同文の close が繰り返しを避けるため省略されている。be close to ~ 「~に近い、親しい」

VI lose sight of ~ 「~を見失う」 sight は see の派生名詞。

VII 次の段落で父親の体調を気遣っていることから、ウ「この試合を続けたいから」が適切。

VIII the sensation I get when I'm out I の前に目的格の関係代名詞が省略されている。

IX turn out to be ~ = prove to be ~ 「~であることがわかる、判明する」

やや難

X 関係代名詞 what 「~ということ」(最後から3番目の段落、最終文参照) without ~ing 「~しないで」 take it easy on ~ 「~に手加減する」(下線部(8)の2文後ろの文参照)

XI ア 「ロジャー・クラークと息子のジミーは、ジミーが子供のころ、お互いにうまく行っていなかった。そこでロジャーは息子と仲直りするため1対1のバスケットボールをプレーし始めた」

(×) イ 「これはロジャーとジミーの間の私的な試合であるにもかかわらず、最近は多くの近所の人や地元のテレビ局まで引き付けている」(×) ウ 「ロジャーとジミーは2人とも1対1のバスケットボールがよい経験だと思っている。コートの上では彼らは勝利を目指してプレーする」

(○) エ 「ロジャーは56歳で、1対1のバスケットボールから引退したいと思っている、一方ジミーは全力を尽くして父親を説得し、心変わりさせようとしている」(×) オ 「ロジャーはジ

ミーがどんどん強くなることにストレスを感じ、息子の力とスタミナに圧倒されないようウエイトトレーニングを始めた」(×) カ「コートで1対1のバスケットボールをプレー中、ロジャーは勝利欲だけでなくジミーに対する深い愛情も感じる」(○)

XII (全訳) 父 : 息子よ、ロジャーはいい父親だと思うかい？

息子 : うん。父さんももっと彼みたいだったらいいのに。彼のように、父さんが僕と一緒に遊んだり、何かしてくれたりしたことなんて思い出せないよ。父さんは仕事が忙しすぎて僕とスポーツする時間が作れない、って言ってばかりだよ。家族のためにお金を稼ぐのが一番大切なことだ、っていつも言うよね。

父 : 私は家族を養わなくてはならない。(2) 現在の経済不況で職を失わないようにするのが大変なんだと、お前に理解してほしい。私はアメリカ人が言うように、(3) ビーバーのように、なりふり構わず働かなくてはならないんだ。

息子 : 父さんが僕たちのために何もしてくれないって言ったんじゃないよ。僕たちを養うために努力してくれてありがとう。でも、この話に出てくる父親と息子ののように、一緒にやる活動を通じて、お互いにもっと親しくなりたいな。父さんは48歳、でも僕はまだ14歳だ。何と一緒にできるか、真剣に考えないといけないよ。

父 : まったくその通りだ。(5) 一緒に英語を勉強するというのはどうだろう。私たちは二人とも、英語を使いこなさなくてはならない。私は仕事に役立つし、お前は高校入試の準備に役立つだろう。

息子 : また仕事！ 父さんが考えることは何が仕事に役立つか、ばかりで、何が面白いかなんて考えない。僕は彼らみたいに一緒にスポーツを楽しみたいよ！

父 : それは一理あるな。(7) では、明日の朝、朝食前にジョギングに行かないか？

息子 : (8) ちょっとやめてよ、父さん！

基本

1. (1) be busy with ~ 「～で忙しい」 (6) in preparation for ~ 「～の準備で」

2. weak economy 「経済不況、不景気」

3. work like a beaver 「あくせく働く」(アメリカ英語)

4. make effort 「努力する」 直前に have があるので現在完了。過去分詞 made を入れる。

基本

5. How about ~ing? 「～するのはどうですか」

基本

6. Let's ~ の文の付加疑問は、shall we? とする。

7. Oh, come on! 「やめてよ」は相手に軽く抗議するときの言い方。ア「父さん、もっと楽しいことが思いつかないの？」が適切。

[B] (長文問題・エッセイ：発音、アクセント、語句補充・選択、語句解釈、指示語、比較、分詞、内容吟味、内容一致、要旨把握)

(全訳) 「カリカリ…モグモグ…」

「ケイコ、あなたが食べている変なものは何？」と母が聞いた。

「おじいちゃんと私が田んぼで捕まえたイナゴよ！ (2) 1つ食べてみる？ 本当においしいよ！」

(3) 母が口をあぐりと開けた。彼女はイナゴを食べたことなど一度もなかった。

祖父と私はその日の朝、一緒に田んぼへ行き、たくさんのイナゴを集め、家に持ち帰った。祖父がそれを揚げて、しょうゆ少々とはちみつを1滴たらした。私は甘い味と塩辛い味の組み合わせがとても気に入ったし、イナゴのカリカリした足とうまみたっぷりの胴体のコントラストが気に入った。これは祖父と私の最初の思い出の1つだ。

毎日、祖父と私は一緒に長い散歩へ出かけたものだった。冬の寒さや夏の暑さの中でも約2時間歩いた。私たちはいつも(4) 世界が私たちのために何をを用意しているのかを発見するのを楽しみに

していた。祖父は私に好奇心を持つことの大切さ、身の回りを見て、聞いて、考えることの喜びを教えてくれた。祖父は私に探検するのを決してやめてはいけないと教えた。

人々は⁽⁵⁾私をユニークな子供だと言い、「⁽⁶⁾あの子は大変でしょう。⁽⁷⁾あの子はあなたを本当にヘトヘトにさせるでしょうね」と言って祖父に同情を示したものだ。そして祖父はこう答えたものだった。「まあ、あれはうちの子ですからね。⁽⁸⁾私は孫娘が他のどんなふうにもなってほしくありませんよ」祖父はいつも私を特別な存在だと感じさせてくれた。

祖父母は⁽⁹⁾図書館のようだ。彼らはコンピュータや⁽¹⁰⁾最新技術について知らないかもしれないが、彼らの知識や経験は、インターネットで探ることができるようなものではない。⁽¹¹⁾それらは祖父母の話と一緒に⁽¹²⁾過ごした時間を通じて、私たちにゆっくりと引き継がれる。

春の初めに私たちの家族は、祖父がガンを患っていて医師たちの見立てではあまり長く生きられないと告げられた。私が病院にお見舞いに行くと、祖父はベッドから起き上がることができず、かつて私の手を握ってくれた手は、今や氷のように冷たかった。

命が祖父の体から離れつつあったが、私は祖父が私にくれた贈り物で祖父を元気づけた。毎日私は祖父の横に座り、私たちは一緒に私の目を通じて世界の素晴らしさを探検した。私が自然、本、学校生活や自分の考えについて話したとき、祖父が私の中にまいた種は根を張り、私の人生は花が満開の庭のようだ、と私は祖父に示した。それは祖父が私に人生に好奇心を持つように教えてくれたからだ。⁽¹³⁾祖父は黙って聞いていたが、私が話している間、祖父の頬が紅潮し、目が輝いているのがわかった。

ある日私は祖父の耳近くで、そのメッセージが祖父の心に届くのを願いながら、祖父に話しかけた。私が話し終わると、祖父は微笑み、最後の力を振り絞って言った。「素晴らしいね…」

翌朝早く、8月2日に、祖父は亡くなった。

祖父は私に、人は本当に死ぬのだと教えてくれた。もちろん祖父の死は私と家族にとっておそろしい悲しみだった。しかし私は、人が死んでも彼らの知識やメッセージは生き続けることができる、ということ学んだ。私は祖父のメッセージを決して忘れず、祖父のように人生を生きられることを願う。いつも人や物事に興味を持って。

I (1) 見出し語とアは [ei]。イは [e]、ウとエは [æ]。 (14) 見出し語とウは [e]。アは [i]、イは [ei]、エは [ə:r]。 (15) 見出し語とウは [a]。アは [ʌ]、イは [ou]、エは [ɔ:]。

II (2) one は <a + 名詞> の代用として用いられる。ここでは a grasshopper のこと。

(9) 次の文に「知識と経験」とあることからア「図書館」が適切。

III (3) drop one's jaw 「あごを落とす、口をぽかんと開ける」(驚き・失望を示す)

(4) in store for ~ 「~のために用意して」 (5) unique 「独特な、ユニークな」

(7) wear ~ out 「~を疲労困憊させる」

IV 下線部(6)と次の文の She はともに筆者を指し、おじいさんにとっての「孫娘」のこと。

V not any other ~ 「他のどの~も…ない」

基本

VI (10) latest 「最新の」 (12) 「過ごされた」と受け身の意味を表す過去分詞を入れる。

VII 直前の文の主語を指す。

VIII 頬が染まり目が輝いていた、ということから、祖父は喜んで筆者の話聞いていたとわかる。

IX live one's life 「自分の人生を生きる」

X ア 「私はたくさんのイナゴを家に持って帰り、母に見せた。母はまったく食べたくなかったけれども、いくつか食べた」(×) イ 「悪天候のため、時々祖父と私は二人の長い散歩を中止せざるをえず、それが私をとてもがっかりさせた」(×) ウ 「祖父は私のような大変な子供を世話するのに同情されたとき、私のことを誇りに思っていると言ったものだった」(○)

エ 「ある日私は祖父がガンで危険な状態だと告げられた。私が病院に到着すると、祖父はベッドに寝ていて手はすでに冷たかった。私は祖父がもう亡くなったのだと理解した」(×)

オ 「私が病院に祖父をお見舞いに行ったとき、私は祖父に家の周りではどんなことが起きているかを話した。祖父が私に世界がどのように見えるか教えてくれたように、私は祖父に私が世界をどのように見ているか教えようとした」(○) カ 「私の祖父は8月2日の朝に死んだ。私はとても悲しかったので、私が祖父と一緒に過ごした時間や祖父が私に伝えてくれた知識やメッセージを思い出さないようにした」(×)

重要

XI (全訳) 私はこの話にとっても⁽¹⁾感銘を受けた。今日の世界では、私たちは情報をますますコンピュータから得ているように思われる。しかしこの話の少女はもっと価値あるものを学んでいる。彼女は⁽²⁾好奇心がどれほど大切か学んでいる。それは自分の周りにあるものに本当の興味を持つことだ。人、場所、物事に。少女の祖父と一緒に時間を過ごし、例えばイナゴを捕まえて調理するというような⁽⁴⁾普通でないことをすることによって、彼女がこれ(好奇心)を⁽³⁾伸ばす手助けをしている。命の終わりに、祖父はそれが孫娘にとっても貴重な⁽⁵⁾贈り物であることを理解し、それを知って幸せに死ぬことができる。私自身の孫娘はまだ赤ちゃんだが、将来私も彼女と似たような⁽⁶⁾関係を持てることを願う。



★ワンポイントアドバイス★

文章量も問題数も非常に多い。時間配分に十分気をつけよう。若干短めなBから解くのも一案である。

<国語解答> 《学校からの正答の発表はありません。》

- ☐ 問一 モノはなくても物語のある世の中 問二 人々に物語～きなくなる
問三 意味と価値～生きづらさ 問四 ア 問五 必然的に誤～も傷つく
問六 自己像を無～在を求める 問七 「引きこもり／心理主義」
問八 ア C イ C ウ B エ A
問九 (a) ほったん (b) 放映 (c) 渦中
- ☐ 問一 (a) 装(う) (b) こうしょう (c) 形跡 問二 A イ B オ
問三 精神の貴族 問四 I イ II ア III オ 問五 ア
問六 俗悪ならん～闊達自在さ 問七 独立自存の逞しさと、落着き(13字)
問八 α ア β カ 問九 ウ・エ
- ☐ 問一 奈良(県) 問二 エ 問三 オ 問四 (4) オ (5) イ 問五 鹿
問六 ウ 問七 ア

<国語解説>

☐ (論説文—内容吟味、文脈把握、漢字の読み書き)

問一 ここでの「不自由」とは、「モノ」がなくて、物質的に豊かな生活ができないことを意味している。時代が不自由→自由、暖かい→冷たいと変化することに注意して、変化する前の時代を表現する言葉を指定字数をヒントにして探す。

問二 自由を獲得すると同時にひきおこされた現象を表現する部分を探す。直後の文に「消費社会の自由と豊かさ引き換えに」とあるので、その直後の内容がそれにあたる。

重要 問三 流動化の象徴的事件として地下鉄サリン事件が挙げられているので、この事件についての性格づけの部分を探す。「後者は」で始まる段落がサリン事件について説明した部分なので、ここから抜き出すとよい。ポイントは「意味が見つからない」ことに触れていることである。

問四 経済は必ず成長するはずだと人々が信じ込んでいたことを指すが、それは単なる思い込みであって、実際の根拠は何もないのでアが適切。

問五 引きこもらないとすれば、「他者と関わり、何かを成そうとする」ことになり、それがどのような結果を生むのかは、「同時に」で始まる段落に述べられている。

問六 内面に引きこもることと、社会的自己実現を否定した場合の「承認への渴望」については、「だがこの物語は」で始まる段落に同内容の表現があることに着目する。

重要 問七 直後の文と対照させて考える。「オタク系アニメーション文化」と「引きこもり／心理主義」、「九〇年代的な文脈」と「その結果出力された『～しない』という倫理」がそれぞれ対応し、あわせて「古い想像力」を形成する。

やや難 問八 ア 「古い想像力」＝「社会的自己実現への信頼低下」が、「教養小説的な成長物語……を後退させ」たので「古い想像力」とは相反するものになる。イ 「国内における」と「たとえば四十年前」で始まる二つの段落において、「大きな物語」は「不自由だが暖かい社会」において機能していたとされるので、「古い想像力」とは反する。ウ 「つまり、ここで」で始まる段落に「何も選択しない」ことが「ここ」の説明とされているが「ここ」の指すものは『新世紀エヴァンゲリオン』の作品世界なので「古い想像力」にあたる。エ 最後の段落に「この『サヴァイヴ感』の生んだ想像力が、私が考える『新しい想像力』とある。その具体的内容が直前の段落で『『小さな物語』を、中心的な価値として自己責任で選択していくしかない」とある。

問九 (a) 「発端」は、物事の始まりのこと。(b) 「放映」は、テレビで放送されること。(c) 「渦中」は、事件やもめ事のさなかのこと。

㉓ (論説文一主旨、内容吟味、文脈把握、接続語、脱語補充、漢字の読み書き、慣用句)

問一 (a) 「装」の音読みは「ソウ」、熟語は「装置」「内装」など。(b) 「高尚」は上品なこと。(c) 「形跡」は、物事が行われたり、何かがあったあと。

基本 問二 A 岩手県の高館で詠まれた句で、今はただ夏草だけが生き茂るばかりで、まったく人気もないが、ここはかつて義経主従や藤原一族の者たちが功名・栄華を夢見て戦ったところである。この夏草を眺めていると、すべてが一炊の夢と消えた哀れさに心が誘われるという意味。季語は「夏草」。B 山形の立石寺で詠まれた句で、静寂に包まれた中で、ただせみの鳴き声だけが岩にしみ入るように聞こえているという意味。季語は「せみ」。

問三 具体的な人物として大雅堂や良寛が挙げられ、この人たちは「無きに如かざるの清潔を選んだ」が、それは「精神の貴族」と表現されている。

問四 I 「甘んじる」は、与えられたものをそのまま受け入れたり、しかたがないと思ってがまんすること。II 「清濁合わせ呑む」は、善でも悪でも区別なく受け入れるという、広い心のこと。III 「眼中にない」は、まったく問題にしない、何とも思わないこと。

やや難 問五 「無きに如かざるの清潔を選んだ」のは「彼等」であり「彼等」は大雅堂や良寛を指す。タウトが紛らわしいが、「家だの庭だの調度だのというもの」に顧慮しないのは「日本の実質的な精神生活者」に愛用されたとあるので含めない。

問六 傍線部は、秀吉の命じた芸術における一貫した性格のことであり、傍線部を含む段落の冒頭に「この精神」とされる。「この」が指す内容は前段落の末尾に書かれている。

問七 秀吉の持った精神のことである。最後の段落に秀吉を代表する建築物として三十三間堂塀が挙げられている。これについて「独立自存の逞しさと、落ち着き」があると述べられる。同じ最後の段落中に「天下者のスケールにおいて、彼の残した多くのものに一貫して開花している」として、「駄々っ子のもつ不逞な安定感」を挙げているが、これも解答として抜き出すことができる。

問八 α 前文の表現よりも、後文の表現がよりの確に言いたいことを表すはたらきの「むしろ」を入れる。 β 秀吉は、本来芸術についての理解力や観賞力があつたのかどうかという疑問を投げかけているので「いったい」が適切。

重要 問九 「だから、庭や建築に」で始まる段落に、「彼等は、その精神において……貴族的でありすぎたのだ」とあり、「彼等」は「日本の実質的な精神生活者」を指すので、ウの「天下者の精神を持った者」は合致しない。また「日本の実質的な精神生活者」は「無きに如かざるの清潔を選んだ」のであって、エの「有形の美」は合致しない。

三 (古文一文脈把握, 指示語, 脱語補充, 口語訳, 旧国名)

〈口語訳〉大和の国に、男と女がいた。長い年月にわたってこのうえなく愛しあつて過ごしていたが、どうしたことであろうか、男は他に女をこしらえてしまった。それだけでなく、その新しい女をこの家に連れて来て、壁を隔てて住まわせ、自分(元の妻)のほうにはまったく寄りつかない。(元の妻は)とてもつらいと思うけれど、けっして口に出してねたんだりはしない。秋の夜長に、目を覚まして聞くと、鹿が鳴いていた。ものもいわずに、その鳴き声を聞いていた。すると、壁を隔てている男が、「お聞きになっていますか。西隣さん」と言ったので、「何を」と答えたところ、「この鹿の鳴き声は聞きなさいましたか」と言ったので、「はい、聞いています」と答えた。男は、「それでは、その鳴き声をどのような思いで聞きましたか」と言ったので、女はすぐさま答えた。

私も、かつてあの鹿が鳴くように、泣いてあなたに恋い慕われたものです。今ではよそで、あなたの声だけを聞いているありさまですけれど。

と詠んだところ、男はこのうえなく心をうたれて、今の妻を送り返して、元の妻と以前のように長く暮らし続けた。

基本 問一 大和(やまと)は現在の奈良県の旧国名である。

重要 問二 夫が浮気をして新しい女を迎えたということ。文末の「この今の妻を」もヒントにする。

問三 「自分が現在いるところ」という意味。本文の視点が次々に変化するので、文脈に注意して読む必要があるが、この部分では男が、新しい妻のところばかりにいて、元の妻のところには寄りつかなくなってしまうことを直後の「さらに寄り来ず」などから読み取る。

基本 問四 (4) 「さらに～打消」は、「まったく～ない」と訳す。「さらに」は副詞で、下の打消語を強調する働きをする。(5) 「いと」は、程度がはなはだしいことを表す副詞。

問五 秋の夜に鳴く動物であり、和歌中に「しかなきて(鹿鳴きて)」と詠まれていることから考える。鹿が鳴くのは、求愛のためとされる。

問六 「壁をへだてたる男」とあることに着目する。壁の向こうには、男(夫)と、新しく迎えた女(今の妻)がいる。その男が、壁を隔てて西の部屋にいる最初の妻に鹿の鳴き声を聞いたかどうかと呼びかけた場面である。

重要 問七 女が詠んだ歌の中で「恋ひられし」とあるので、「人」は「男」のことになる。

★ワンポイントアドバイス★



現代文では、本文中からの抜き出し問題が多いことが特徴。抜き出しにあたっては、もとの傍線部の文末に注意をして、「答え」の文末が活用語になるか非活用語になるかを確認すること。